

ハーバード大学教授陣と意見交換

—DXとAIの展望～日本企業と世界経済の機会と課題—

2024年7月11日

パネル1「DXとAIの展望:ハーバード大学からの視点」

竹内 弘高 国際基督教大学 理事長

今井 耕介 ハーバード大学 政治学・統計学部教授

アレクサンダー・ザルテン ハーバード大学 東アジア言語・文明学部教授

パネル2「サイバーセキュリティとAI:日本企業の課題」(ダイアローグ)

横浜 信一 NTTセキュリティホールディングズ社長/NTTグループ CISO

山本 康正 ベンチャー投資家/京都大学経営管理大学院 客員教授

モデレーター: クリスティーナ・L・デイビス ハーバード大学日米関係プログラム所長
エドウィン・O・ライシャワー教授



経済広報センターは7月11日、クリスティーナ・デイビス ハーバード大学日米関係プログラム所長をはじめ教授陣、有識者、企業関係者を招き、「デジタルトランスフォーメーション (DX) とAIの展望～日本企業と世界経済の機会と課題」と題する講演会を開催した。企業の幹部ら185人が参加した。

「DXとAIの展望～ハーバード大学からの視点」のテーマについて、竹内弘高国際基督教大学理事長、今井耕介ハーバード大学政治学・統計学部教授、アレクサンダー・ザルテン ハーバード大学東アジア言語・文明学部教授がそれぞれ講演。①コロナ渦における製薬会社の事例を挙げ、日本企業もデジタル化、プラットフォーム化を推進する必要がある②生成AIにより、事業活動においてコンテンツからプラットフォームへのシフトを加速できる——などの指摘があった。

続く「サイバーセキュリティとAI～日本企業の課題」のテーマについて、横浜信一NTTセキュリティホールディングズ社長・NTTグループCISO、山本康正京都大学経営管理大学院客員教授が課題と展望についてそれぞれ説明。日本企業もサイバー攻撃への対応を経営課題として取り組むことの重要性

や、事業成長にはリテラシーやビジョンの明確化が求められていることなどを指摘した。

また、デイビス氏をモデレーターとするパネルディスカッションを両テーマごとに実施し、参加者と活発に意見交換した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。